

平成 25 年 11 月 24 日 (日) 第 8 期アレルギー大学 研究実践講座

記念講演・研究実践報告

午前の部 9:15 受付開始

認定 NPO 法人 アレルギー支援ネットワーク
会場:名古屋工業大学 2号館 3階 0232

9:30~10:30 研究報告
座長 小川 雄二 名古屋短期大学 教授

「あいち小児保健医療総合センターにおけるエピペン使用症例の報告」

9:30~10:00

あいち小児保健医療総合センター アレルギー科 中田 如音

「アレルギーっ子家族をお迎えする、沖縄のホテルシェフの心意気！」

10:00~10:30

かめさん商店 田村磨理/QOL トラベル とちの浩

休憩 10:30-10:40

10:40~12:10 記念講演
座長 小川 雄二 名古屋短期大学 教授

「食物アレルギー アナフィラキシー対応」

講師 宇理須 厚雄

藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院小児科教授・アレルギーセンター長

食物アレルギーの症状の中でアナフィラキシーは、生命に危機を与え得る過敏反応です。迅速な診断と対処が必要です。調布で起きた事故が2度と起きないように、どのように対応したらよいか一緒に考えましょう。また起きてしまったらどうしたらよいか、それをスムーズに行うために常日頃どうしたらよいか解説します。

午後の部 13:15 受付開始

13:30~14:45 研究実践報告 (各15分)
座長 伊藤 浩明 あいち小児保健医療総合センター 内科部長

1. 「飲食店(多業態)における食物アレルギー対応の取り組み」
株式会社ダイナック 岡角江理
2. 「給食センターでのアレルギー対応について」
清洲学校給食センター 上田 愛
3. 「家庭でできるアレルギー対策」
消費生活コンサルタント 野々山 有紗
4. 「園における誤食防止」
信電保育園 田垣内 菜実

休憩 14:45-15:00

15:00~16:30 記念講演
座長 伊藤 浩明 あいち小児保健医療総合センター 内科部長

「乳児におけるアレルギーの病態と食物アレルギー発症予防」

講師 鈴木 修一

国立病院機構 下志津病院 小児科・アレルギー科

アレルギー疾患はさまざまな環境因子と遺伝因子が相互に作用し発症する免疫疾患である。食物アレルギーの好発年齢は乳児期であることから、食物アレルギーの発症予防においては、乳児期におけるアレルギーの病態を解明することが重要である。この講演では、1) 食物感作はいつ、どのように起こるのか: 臍帯血リンパ球と IgE 抗体の解析から示唆される胎内感作について、2) 食物アレルギーを高率に合併する乳児アトピー性皮膚炎の発症にはどのような因子が関与するのか: 特に腸内や皮膚の細菌叢や母乳の関与について、千葉大学における研究成果を中心にご紹介し、乳児の食物アレルギー発症予防について考察する。